

地盤工学会 第 58 回研究発表会(福岡)開催支援

安福規之¹, 笠間清伸²

1&2九州大学大学院工学研究院社会基盤部門

概要: 地盤工学会第 58 回研究発表会(福岡大会)では、916 件の口頭発表があり、参加登録者数が 2096 件と多くの方々に対面とオンラインでご参加いただきました。また、技術展示やパネル広告(54 件)での想定を超える多くの企業・協会の皆さまにご支援を賜り、見学会を含め 4 日間の大会を無事に終えることができました。

1. 地盤工学会第 58 回研究発表会の概要

第 58 回地盤工学研究発表会が令和 5 年 7 月 11 日(火)から 14 日(金)まで福岡市で開催されました。地盤工学会九州支部では、前回の第 49 回北九州大会(平成 26 年)以来、9 年ぶりで、これまでにこの福岡大会を含め、支部内では 8 回開催されていますが、福岡市での開催は第 2 回大会以来 56 年ぶりとなりました。

2. 会議の目的とテーマ

地盤を専門に研究する技術者、学識者の専門家集団である地盤工学会では、毎年研究発表会やジャーナルなどにより地盤関係の最新の研究や技術開発などの情報発信や意見交換を行っており、これらの活動が公共事業の品質向上に対して大きな効果をもたらしている。

地盤工学会第 58 回研究発表会(福岡大会)は、専門家としての地盤工学に関する情報交換や知見を広めるだけでなく、一般市民参加イベントとしての講演や見学会など、地盤工学や建設分野への理解を得るための広報活動も実施した。

2. 主な開催場所

大会メイン会場(各種発表・特別講演・展望講演・展示会場)は、福岡国際会議場(福岡県福岡市博多区石城町 2-1)であり、交流会会場はホテルニューオータニ博多(福岡市中央区渡辺通 1-1-2)、市民向け行事会場は天神中央公園(福岡県福岡市中央区天神 1 丁目 1)で開催した。

3. 主催機関

主催と共催はそれぞれ、公益社団法人地盤工学会と国土交通省九州地方整備局、福岡県、福岡市であった。

4. 会議の成果について

参加者数は発表者 916 人、出展企業は 98 社、ブース数 103 およびバナー広告は 54 社であっ

た。交流会へは一般 412 人および学生 18 人の酸化があった。見学会 A コース 20 名と B コース 47 名の参加があった。

メイン会場である福岡国際会議場の各会議室への来場者は、表 1 の状況であった。福岡国際会議場内に 12 室の会場を設け、そのうち 2 部屋(メインホールと 5 階 201 号室)をハイブリッド対応で発表できる会場とした。7 月 11 日(火)である会議初日に対面参加者 2945 人とオンライン参加者 249 人の来場があり、2 日目は対面参加者 2231 人とオンライン参加者 353 人、3 日目は対面参加者 2078 人とオンライン参加者 202 人の来場があった。

表 1 各会場への参加者数

	7月11日	7月12日	7月13日
	合計	合計	合計
第1会場	367	627	163
	213	286	159
第2会場	253	149	221
第3会場	172	138	170
第4会場	207	141	163
第5会場	215	148	166
第6会場	238	158	194
第7会場	320	139	200
第8会場	286	145	158
第9会場	303	172	199
第10会場	119	135	58
	36	67	43
第11会場	253	162	192
第12会場	212	117	194
現地合計	2945	2231	2078
オンライン	249	353	202
現地+オンライン	3194	2584	2280

5. 謝辞

本大会の準備・運営にあたっては、九州建設技術管理協会に多大なご協力とご支援をいただきました。ここに皆様のご努力に対して改めて感謝を申し上げ、報告といたします。



写真1 福岡国際会議場のメインホールの様子

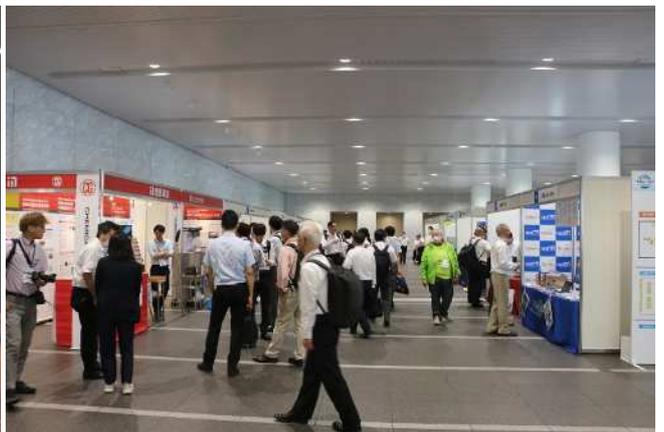


写真3 技術展示会場（1階と2階）



写真2 発表会場の様子



写真4 市民向けイベント（天神中央公園）